

■安心・安全な学校づくり

桂川中学校 校長 深見 秀人

新緑の季節になりました。4月に入学した1年生も、中学校生活に少しずつ慣れてきました。本年度も「桂川の子どもたちの幸せのために」を合い言葉に、生徒にとって「誰もが安心して精一杯学び合える学校」を、保護者にとっては「安心して子どもを任せられる学校」を、教師にとっては「子どもを誇りにできる学校」を築いていきます。

本年度の学校教育目標は「心豊かで意欲的に学び、志の実現に努力するたくましい生徒の育成」です。目指す学校の姿「安全・安心な学校」つまり誰もが安心して精一杯学び合える学校を目指します。

具体的な取り組みとしては、

- 一、授業を充実させ、学力を向上させます。
- 一、「心の教育」に力を入れ、人としての基礎基本を身につけさせます。
- 一、生徒の活動を活性化し、

エネルギーや持ち味を存分に発揮させます。

この3つの点に力を入れ、桂川中の教育をさらに充実させていきたいと考えています。

■幼稚園教育の

充実を目指して

桂川幼稚園 園長 中山 徹一

ちゅうりっぷ組(3歳児)32名、たんぼぼ組(4歳児)24名、ひまわり組(5歳児)30名、計86名の園児で本年度がスタートしました。

今年の教育目標は「元気で思いやりのある心豊かな幼児の育成」です。

具体的には以下のような幼児像をめざしていきます。

- ①友達と力を合わせ仲良く、元気に遊べる子ども(体)
- ②人の話をよく聞き、自分の思ったことを言える子ども(知)
- ③友だちの喜びや悲しみが分かる思いやりのある子ども(徳)

幼稚園の生活は、毎朝全員で体操を行い、園庭を10分ほど走り、鉄棒や竹馬をします。その後、各教室で、絵本の読み合いやお絵かき、音楽などを楽しみます。昼食後は運動遊びや自由遊びを中心に異年齢間の交流を行います。また、畑や鉢を使ってダイコン、サツマイモなどの野菜、ちゅうりっぷ、ひまわりなどの花を育て、食育や命の尊さ、友だちとの関わりなど人間関係の基礎を培っていきます。



■学校支援活動が始まりました

桂川町学校支援地域本部(桂川町教育委員会内)

桂川町の子どもたちの教育活動に、地域の皆さまの「ちから」で学校などを支援していく桂川町学校支援地域本部がスタートし、地域のボランティアによる学校支援活動が始まりました。

5月18日(水)、桂川小学校1年生の体力テストの補助に1名のボランティアが参加し、運動場での「50m走」などの計測や記録簿への記入を行い、先生方の指導を側面から支援しました。

また、5月12日(木)、桂川東小学校3年生の習字の授業に2名のボランティアが参加し、習字用具の置き方や扱い方などを、担任の先生と共に指導しました。児童たちは初体験の習字でしたが、「書くのが難しかったけど楽しかった」「先生がついてくれてわかりやすかった」と笑顔。参加したボランティアも、「児童たちと触れ合えて私自身も楽しめました」と、こちらも初体験の支援活動に頬を緩ませていました。

学校支援地域本部では、このような学校支援活動を行うボランティアを募集しています。関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

